

人文社会科学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

人文科学研究コース（人間学領域／地域文化領域／言語文化領域）

【知識・技能/関心・意欲】

- ・「人間」「文化」に深い関心と高度な問題意識を持っている人
- ・高度な専門知識を身につけるために前提となる学力と主体的に学ぶ意欲を持っている人
- ・地域社会に人文科学の専門知識を持って貢献していこうとする情熱を持っている人

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力	
	知識・技能	関心・意欲
筆記試験	◎	
口述試験	○	◎

グローバル社会研究コース（言語コミュニケーション領域／比較社会文化領域）

【知識・技能/関心・意欲】

- ・「グローバル化」とそのもたらす問題について深い関心と高度な問題意識を持っている人
- ・高度な専門知識を身につけるために前提となる学力と主体的に学ぶ意欲を持っている人
- ・地域社会に専門知識を持って貢献していこうとする情熱を持っている人

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力	
	知識・技能	関心・意欲
筆記試験	◎	
口述試験	○	◎

社会科学研究コース（経済政策領域／企業経営領域／法律政治領域）

【知識・技能/関心・意欲】

- ・社会科学について深い関心と高度な問題意識を持っている人
- ・高度な専門知識を身につけるために前提となる学力と主体的に学ぶ意欲を持っている人
- ・地域社会に社会科学の専門知識を持って貢献していこうとする情熱を持っている人

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力	
	知識・技能	関心・意欲
筆記試験	◎	
口述試験	○	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎、○は、当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要項目、○は必要・重点項目）なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

理工学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

理工学専攻では、以下のような学生を受け入れて、教育研究を行います。

理工学専攻

【知識・技能】

- ・理学・理工学を学ぶにあたって必要となる「数学」「理科」「英語」の基礎的事項に関して、大学卒業程度の知識を有している。

【思考・判断】

- ・物事の考え方や判断基準を科学的・論理的に捉えることができる。

【関心・意欲】

- ・数理学・自然法則，生物科学，情報科学，化学・生命現象，自然災害現象のいずれかの分野に対して好奇心と探求心を持ち，課題に意欲的に取り組める。

【技能・表現】

- ・データの収集や整理を行い，課題に対して科学的に，適切に表現できる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・自然法則や応用的な科学を主体的に学び，科学倫理を持って，社会の維持・発展に貢献したいという意欲を有している。

また，上記の理工学専攻共通のアドミッション・ポリシーに加えて，コース個々のアドミッション・ポリシーを以下のとおり示します。

数学物理学コース

【知識・理解】

- ・数学や物理学の専門領域についての基礎事項を学び，より高度な専門知識をより深く修めるための準備ができている。科学論文を理解するための英語の基礎的読解力がある。

【思考・判断】

- ・問題点を発見し，解決すべき課題を自ら設定し，分析するといった問題解決の基礎を習得している。

【関心・意欲】

- ・数理や自然現象に好奇心を持って課題に取り組む意欲を持つことができる。

【技能・表現】

- ・習得した自らの専門領域についての内容を的確に発表し，自身の言動に責任を持って議論にのぞむことができる。

【態度】

- ・明瞭な課題意識のもとに，研究能力を修得し，学術研究を進展させようとする確固たる意志を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第1次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
学力試験	◎	◎		○	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第2次・第3次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

生物科学コース

【知識・理解】

- ・生物の多様性と進化, 生態系, それらを取り巻く環境など, 生物科学の基礎を身に付けている。

【思考・判断】

- ・生物科学の学修にあたって, 客観的かつ合理的な思考を身に付けている。

【関心・意欲】

- ・生物科学の研究に主体的に取り組み, 修得した知識をもとに社会に貢献する強い意志を有している。
- ・生物科学を主体的に学び, 持続可能な社会の構築に寄与したいという意欲を有している。

【技能・表現】

- ・生物科学の研究に関する基礎的な技能を有し, 適切な情報発信の方法を身に付けている。

【態度】

- ・生物科学を主体的に学び, 持続可能な社会の構築に寄与したいという意欲を有している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第1次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
学力試験	◎	◎		○	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第2次・第3次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

情報科学コース

【知識・理解】

- ・情報科学又は情報工学に関する学士レベルの学力と研究分野における知識を備えている。

【思考・判断】

- ・情報科学、情報工学の研究に進むにあたって、客観的かつ合理的な思考を身に付けている。

【関心・意欲】

- ・情報科学及び情報工学分野の中に学問的関心領域を持ち、強い研究意欲を持っている。

【技能・表現】

- ・情報科学又は情報工学分野に関する自身の学習の成果と今後の学習・研究計画について、分かりやすくかつ正確に説明ができる。

【態度】

- ・学術研究に対する真摯な姿勢を身に付け、得られた成果を高度情報化社会に還元しようという意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第1次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
学力試験	◎	◎		○	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第2次・第3次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

化学生命理工学コース

【知識・理解】

- ・化学や生命理工学分野の幅広い基礎学力を有している。

【思考・判断】

- ・化学・生命理工学研究に対する高い学習意欲と論理的な思考力を身に付けている。

【関心・意欲】

- ・化学・生命理工学研究を進めるために課題を発見し解決する意欲がある。

【技能・表現】

- ・化学や生命理工学に対する客観的かつ合理的な思考や学士レベルの実験技法を身に付け、自身の成果を適切に表現できる。

【態度】

- ・豊かで暮らしやすい社会の持続的構築に貢献できる技術開発・研究能力の修得を目指している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第1次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
学力試験	◎	◎		○	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第2次・第3次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

地球環境防災学コース

【知識・理解】

・ 学士レベルの数学，自然科学，防災技術及び語学に関する基礎知識と地球環境，自然現象の発生機構，防災に関連する分野の専門知識を有している。フィールドにおける観察や調査，室内での実験を通して，地球環境の変化や自然災害リスクを理解している。

【思考・判断】

・ データに基づいて客観的・論理的に深く考察をし，適切な結論を導くことができる。過去から現在までの動向を分析し，将来を模索・創造できる広い視野と柔軟な思考力を身に付けている。

【関心・意欲】

・ 地球上の自然現象や環境・資源と，自然災害リスクが人間生活に及ぼす影響に関心を持つことができる。修得した知識と技能を，社会的問題の解決のために活用する意欲を有している。

【技能・表現】

・ 多言語によるコミュニケーション能力や，プレゼンテーションとディベートを通じた問題解決能力を身に付けている。

【態度】

・自身の知識と技能を、社会に還元する意思を有している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第1次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
学力試験	◎	◎		○	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第2次・第3次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎、○は、当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。(◎は必須・最重要項目、○は必要・重点項目)なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

医科学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

医科学専攻（修士課程）では、その目的に基づき、次のような学生を求めます。

医科学コース

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲，態度】

専門的な医科学の知識と経験を活かし、医療関連の研究教育施設、企業、病院などにおいて指導的な貢献を果たす意欲を有する。

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について、口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲， 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

公衆衛生学コース

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲，態度】

公衆衛生学の5基本領域である疫学，生物統計学，環境保健学，医療政策・医療管理学，行動科学の知識と技能を活かして，医療データ分析，地域医療，災害医療，国際保健を含めた公衆衛生の実務において指導的な貢献を果たす意欲を有する。

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について、口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲, 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

公衆衛生学コース（1年コース）**【知識・理解】**

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲，態度】

- ・中央行政機関，地方自治体等において，環境に起因する疾病の対策に取り組みたいと思っている人
- ・膨大な医療情報から，データサイエンティストとしての専門知識を活かして診断，治療，予後に関する実務及び研究に取り組みたいと思っている人
- ・臨床試験と臨床研究を専門的視点で実施するために必要な知識と技能の身に付けたいと思っている人
- ・地域医療・地域保健の現場で，社会との関わりを重視して，疾病の予防，診断，治療に取り組みたいと思っている人
- ・産業医，産業歯科医，産業看護職，産業衛生技術者等の産業保健スタッフとして，職場の疾病予防対策に従事したいと思っている人
- ・環境に起因する疾病の予防，診断，治療に関わる研究に従事したいと思っている人
- ・国際機関において，環境に起因する疾病の対策に取り組みたいと思っている人
- ・疫学的手法や電子化保健・医療データの解析手法の知識・技術を活かして，環境，食品，製薬や臨床検査機器関連企業等で活躍したいと思っている人
- ・電子化保健・医療データの解析手法や医療情報システムの知識を活かして，医療管理の分野で実務家として活躍したいと思っている人
- ・疫学的手法や電子化保健・医療データの解析手法，医療情報システムの知識を活かして，医療系IT企業で活躍したいと思っている人

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について、口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

る。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲, 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

ヘルスケアイノベーションコース

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲，態度】

- ・医学，工学の知識，技術を深め，地方都市が抱えるヘルスケアの課題解決に役立つ新たな知見，革新的技術の創出及び人材育成に取り組む意欲がある人
- ・情報技術，人工知能，システムデザイン工学，リスクマネジメントなどの知識をベースに，デジタルトランスフォーメーションにより病院の機能改善，経営戦略，医療安全などに貢献する意欲がある人
- ・医療機関あるいは産学官などの異分野，多組織間の縦割り構造を超え，円滑な連携のキーパーソンとして活躍する意欲がある人
- ・ヘルスケアに関連するイノベーションやベンチャーの立ち上げ，企業での活躍をめざし，知的財産，経営，法規，規制等の専門的な知識を身につけて活躍したい意欲がある人

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について，口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲, 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎，○は，当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要項目，○は必要・重点項目）なお，◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

看護学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

看護教育・看護管理学分野

看護教育・看護管理学分野では、その設置理念・目的に基づき、次の事項を満たす人材を受け入れます。

【知識・理解】

- ・看護研究を支える種々の看護学の基礎理論、専門知識を一定レベル修得している。

【思考・判断】

- ・看護領域における課題・問題を認識しており、自ら研究課題を設定できる。

【関心・意欲・態度】

- ・質の高い看護を提供できる看護専門職の育成という社会要請に応える意欲がある。
- ・保健医療の臨床・教育分野で活躍しており、看護専門職として積極的な向上心がある。
- ・社会性と倫理性を身につけ、豊かな人間性を持ち、看護探求に意欲がある。
- ・自らを律して、修士論文を完成する強い意志がある。

【技能・表現】

- ・十分なコミュニケーション・スキルを有し、多様な人と共同できる。
- ・看護学の実践技術を一定レベル修得している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現
専門科目	◎			
小論文	○	◎		
口述試験	◎	◎	◎	◎

母子看護学分野

母子看護学分野では、その設置理念・目的に基づき、次の事項を満たす人材を受け入れます。

【知識・理解】

- ・看護研究を支える種々の看護学・助産学の基礎理論、専門知識を一定レベル修得している。

【思考・判断】

- ・看護・助産学領域における課題・問題を認識しており、自ら研究課題を設定できる。

【関心・意欲・態度】

- ・質の高い看護を提供できる看護専門職の育成という社会要請に応える意欲がある。

- ・保健医療の臨床・教育分野で活躍しており，看護専門職として積極的な向上心がある。
- ・社会性と倫理性を身につけ，豊かな人間性を持ち，看護探求に意欲がある。
- ・自らを律して，修士論文を完成する強い意志がある。

【技能・表現】

- ・十分なコミュニケーション・スキルを有し，多様な人と共同できる。
- ・看護学の実践技術を一定レベル修得している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現
専門科目	◎			
小論文	○	◎		
口述試験	◎	◎	◎	◎

健康支援学分野

健康支援学分野では，その設置理念・目的に基づき，次の事項を満たす人材を受け入れます。

【知識・理解】

- ・看護研究を支える種々の看護学又は公衆衛生学の基礎理論，専門知識を一定レベル修得している。

【思考・判断】

- ・さまざまな状態にある人の健康支援における課題・問題を認識しており，自ら研究課題を設定できる。

【関心・意欲・態度】

- ・質の高い健康支援を提供できる看護師・保健師・養護教諭の育成という社会要請に応える意欲がある。
- ・保健医療の臨床・教育分野で活躍しており，看護専門職として積極的な向上心がある。
- ・社会性と倫理性を身につけ，豊かな人間性を持ち，看護探求に意欲がある。
- ・自らを律して，修士論文を完成する強い意志がある。

【技能・表現】

- ・十分なコミュニケーション・スキルを有し，多様な人と共同できる。
- ・健康支援の実践技術を一定レベル修得している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現
専門科目	◎			
小論文	○	◎		
口述試験	◎	◎	◎	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎，○は，当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要点項目，○は必要・重点項目）なお，◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

農林海洋科学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本学修士課程農林海洋科学専攻では、その設置理念・目的に基づき、以下のような人を求めます。

【知識・理解】

・農林資源環境科学，農芸化学又は海洋資源科学について，大学卒業程度の専門的知識と実践的技術を有している。

【思考・判断】

・人間社会・地域社会の持続的発展のために必要となる，食糧，資源，環境に関する諸問題について考察することができる。入学までに修得した農学または海洋科学の専門的知識を踏まえ，論理的な考察を行う素養がある。

【関心・意欲】

・農学または海洋科学の諸分野に対する幅広い関心や農学と海洋科学の連携への興味を持ち，研究に取り組む意欲を有している。

【態度】

・誠実で責任ある研究活動を行い，修得した専門知識・技術を社会のために活かそうとする態度を有する。

【技能・表現】

・研究成果を広く国内外に発信していくうえで必要となる表現力，理解力，コミュニケーション能力，プレゼンテーション・ディベート能力の素養を身に付けている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
口述試験	◎	○	◎	○	○
自己推薦書			◎		○
学業成績	◎				
英語 TOEIC	○				

一般選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
筆記試験	◎				
口述試験	◎	○	◎	○	○
英語 TOEIC	○				

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
口述試験	◎	○	◎	○	○
研究計画書	◎	○			

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
入学願書（研究計画等）	◎	○			○
学業成績	◎				
コンタクトの経緯書等			○	○	

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎、○は、当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要点項目、○は必要・重点項目）なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

地域協働学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

地域協働学部における実習時間 600 時間に相当する現場経験（地域理解，企画・事業開発，実践とその評価・改善等）を有し，なおかつ以下の諸能力を有する者を求めます。

【知識・技能】

- ・ 第一次産業，地域の健康・福祉及びコミュニティに関する知識を中心に地域の産業及び生活・文化に関する幅広い知識を身に付けている。
- ・ 地域計画，地域資源管理，商品開発に関する基本的な知識及び技能を身に付けている。
- ・ プロジェクトマネジメント，協働マネジメント及びファシリテーションに関する基本的な知識及び技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・ 論理的思考力と理性的判断力を持って物事に取り組むことができる。
- ・ 自らの行動や体験について深く見つめ直し，客観的に分析することができる。
- ・ 自分の表現を客観的に見つめ，他者に伝わる表現を心がけており，口頭と文章の両面にわたって十分な表現力を持ち，他者の意見を汲み取ることができる。

【関心・意欲・態度】

- ・ 地域協働リーダーとして積極的に地域社会の人々の間で協働を組織化して地域問題の解決に立ち向かっている。
- ・ 地域協働リーダーとして地域の長期ビジョンを構想，策定して地域協働を組織することを志向する。
- ・ 地域協働リーダーとして協働的学びを組織して問題解決に当たることを志向する。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜

選抜方法	評価する能力		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度
総合問題	◎	◎	
小論文	◎	◎	○
面接	○	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度
小論文	◎	◎	○
面接	○	○	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎，○は，当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要点項目，○は必要・重点項目）なお，◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

グリーンサイエンス人材育成コース アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

グリーンサイエンス人材育成コースでは、以下のような学生を受け入れて、教育研究を行います。

【知識・理解】

学士課程での学習により、化学に関する幅広い知識，基礎学力を有している。

【思考・判断】

自然界での現象を科学的にとらえる習慣が身についている。

【関心・意欲・態度】

GS 課題研究での研究をさらに発展，展開する意欲を有している。

【技能・表現】

化学実験の基礎技術を習得しており，得られた結果を文章にまとめ，発表できる能力を有している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・ 態度	技能・表現
課題研究の 発表	◎	◎		◎
面接			◎	

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎，○は，当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要項目，○は必要・重点項目）なお，◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

現職教員

【知識・理解・技能】

- ・高度な教育実践に必要とされる幅広い教養や教育に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる教育・教育実践に関する知識・技能を備える。
- ・学校や地域の教育課題を十分に理解する能力を備える。

【思考・判断・表現】

- ・学校や地域の教育課題を十分に理解したうえで、実態に即して解決を思考する能力を備える。
- ・教育実践や学校運営の実践を理論的に検討する能力を備える。
- ・学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を備える。
- ・学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現し伝達する能力を備える。

【関心・意欲・態度】

- ・教職への強い使命感を持ち、学校や地域の課題に対して深い関心と明確な課題意識を持っている。
- ・地域の教育課題解決に向けて研究・実践する意欲がある。
- ・主体的に課題を探究する態度を備える。
- ・課題について多様な考え方を適用する態度を備える。
- ・様々な人々と協働して課題を解決する態度を備える。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力		
	知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
入学希望等調書	◎	○	◎
口述試験	○	◎	◎

学部卒生

【知識・理解・技能】

学校教育に関する一定の理解と、教育実践に必要とされる幅広い教養や教育に関する総合的な事項を理解するために必要となる知識・技能を備える。

学校や地域の教育課題を理解する能力を備える。

【思考・判断・表現】

学校や地域の教育課題を理解したうえで、その解決を思考する能力を備える。

教育実践や教育活動が組織的に運営されることを理論的に検討する能力を備える。

学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を備える。

学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現し伝達する能力を備える。

【関心・意欲・態度】

教職への強い情熱を持ち，複雑化・多様化する教育課題に対して深い関心を持っている。

学級経営や学習指導に関する実践的指導力を発揮しようとし，将来学校のリーダーとしての役割を果たそうとする意欲を持っている。

主体的に課題を探究する態度を備える。

課題について多様な考え方を適用する態度を備える。

様々な人々と協働して課題を解決する態度を備える。

【入学者選抜方法と評価する能力】

選抜方法	評価する能力		
	知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
入学希望等 調書	◎	○	◎
筆記試験	○	◎	◎
口述試験	○	◎	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎，○は，当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要点項目，○は必要・重点項目）なお，◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

応用自然科学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

応用自然科学専攻では、下記のような学生を受け入れて、教育研究を行います。

【知識・理解】

・基礎理学，応用理学及び理工学分野の連携に積極的に取り組み，修得した知識を基盤とし地域・国内・海外へ発信しうる技術に活用・応用することの必要性・重要性を理解し，幅広い視点から研究成果を社会実装につなげるための専門知識を身に付ける準備ができている。

【思考・判断/関心・意欲】

・自身の専攻分野で得た課題に対し，問題の本質を把握・分析し，自身の専門分野の他の研究分野を取り入れながら創造的な判断を行うことができる。
・自身の専攻分野で得た知見と，他分野に係る知見を総合的に連携して得た成果を活用し，外部へ発信する好奇心を持って課題解決に取り組む意欲を有している。

【技能・表現】

・修得した自らの専門領域についての内容を的確に国内外の学会並びに国際学術誌で発表し，自身の言動に責任を持って議論にのぞむことができる。

【態度】

・明瞭な課題意識のもとに，研究能力を修得し，学術研究を進展させるだけでなく，研究開発型人材又は理工系高度専門職業人として，社会に対して負うべき責任を理解し健全な倫理観・自然観の下で研究開発を通じた社会実装につながる研究成果を創造する確固たる意志を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口述試験	◎	◎	◎	◎	◎
学業成績証明書	○				
研究計画書			○	○	

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口述試験	◎	◎	◎	◎	◎
学業成績証明書等	○				
修士の学位論文	○	○			
研究計画書			○	○	

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口述試験	◎	◎	◎	◎	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎、○は、当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。(◎は必須・最重要点項目、○は必要・重点項目)なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

医学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

医学専攻では、下記のような学生を受け入れて、教育研究を行います。

生命科学コース

【知識・理解/関心・意欲，態度】

- ・医学の分野に限らず，広い学問領域において高い基礎学力を持ち，生命科学分野の研究に取り組む熱意と能力を持っている。
- ・研究を通して社会との連携や国際交流・協力を推進しようとしている。

【思考・判断】

- ・研究の成果を国際的社会貢献，あるいは新しい医療に応用するという視点を持ち，基礎的ないしトランスレーショナルリサーチを推進しようとしている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力		
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲， 態度
英語	◎	◎	
志望コース 関連試験	◎	◎	◎

医療学コース

【知識・理解/技能・表現】

- ・高度な専門的知識と技能を身につけた専門医を志している。

【関心・意欲，態度】

- ・社会のニーズを適切に把握し，国際的な視野に立ってトランスレーショナルリサーチを推進しようとしている。
- ・人間の健康や疾病に関わる問題を，広い視野で探索し，解決するための研究を展開しようとしている。
- ・研究によって，国内外の保健・医療・福祉分野・法医学の推進あるいは高度な教育・研究に携わる意思を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力		
	知識・理解	関心・意欲， 態度	技能・表現
英語	◎		
志望コース 関連試験	◎	◎	◎

情報医療学コース

【知識・理解/技能・表現/関心・意欲，態度】

・電子化医療データの解析による新たな規則性等の発見手法や「治療評価」，「診断支援」，「医療の質向上」，『稀な事象の検出』の手法，病態推移予測等のモデルによる解析手法などを身につけ，臨床検査機器メーカーや製薬企業等の医療系企業で活躍する熱意と能力を持っている。

【思考・判断/関心・意欲，態度】

・電子化医療データの解析によって得られた知見を，疫学的あるいは臨床的研究に応用してより精度の高い結果へ発展させる熱意と能力のある人。
・集団基盤的な医学研究の新しい分野を開拓し発展させる意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲， 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
志望コース 関連試験	◎	◎	◎	◎

小児神経精神医学コース

医学部卒業生（医療系大学院修士課程修了者を含む。）及び非医療系大学院において発達障害に関する研究で修士の学位を授与された者で，以下のような人を求めます。

【関心・意欲，態度】

・小児科医あるいは児童精神科医を志望し，発達障害についての理解と経験を深めたいと思っている人。
・小児科医あるいは児童精神科医のキャリアとして，病院臨床の枠を超えて，児童福祉や行政まで視野に入れて考えている人。
・小児神経精神医学について，国際的な視野を持って実践や研究をしていきたいと考えている人。
・臨床的な視点からの発達研究に興味のある人。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力
	関心・意欲，態度
英語	◎
志望コース 関連試験	◎

MD-PhDコース

本学医学部医学科の卒業生のうち先端医療学コースⅣの単位を修得した者で，以下のような人を

求めます。

【関心・意欲，態度】

- ・大学及び他の研究機関等において，基礎医学研究者あるいは臨床医学研究者として医学の発展に取り組みたいと思っている人。
- ・病院及び他の医療機関等において，専門医として医学・医療の発展に取り組みたいと思っている人。
- ・行政機関等において，医療・福祉行政の発展に取り組みたいと思っている人。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力
	関心・意欲，態度
英語	◎
志望コース 関連試験	◎

海洋医学コース

【関心・意欲，態度】

- ・海洋科学に関心を持ち，医学研究を海洋に適用して資源フロンティアに挑もうとする意欲を持つ人。
- ・医学研究に関心を持ち，海洋科学的手法を医学に適用して新規分野を開拓しようとする意欲を持つ人。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力
	関心・意欲，態度
英語	◎
志望コース 関連試験	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎，○は，当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要点項目，○は必要・重点項目）なお，◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。

黒潮圏総合科学専攻

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

黒潮圏総合科学専攻では、その設置理念・目的に基づき、以下のような人を求めます。

【知識・理解】

・人文・社会科学あるいは自然科学の特定分野について、大学院修士課程修了程度の専門的知識と実践的技術を有している。

【思考・判断】

・地球規模あるいは地域内における社会の持続的発展や資源・環境の持続的利用・保全に関する諸問題について考察できる。入学までに修得した専門的知識を踏まえ、論理的な考察を行う素養がある。

【関心・意欲】

・さまざまな学問分野から構成される総合科学または、海洋に関わる事象を中心テーマとして取り組む海洋資源科学に対する幅広い関心を持ち、分野横断的な研究に取り組む意欲を有している。

【態度】

・誠実で責任ある研究活動を行い、修得した専門知識・技術を社会のために活かそうとする態度を有する。

【技能・表現】

・研究成果を広く国内外に発信していくうえで必要となる表現力，理解力，コミュニケーション能力，プレゼンテーション・ディベート能力の素養を身に付けている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
記述試験	◎	◎			
口述試験	○	○	◎	◎	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
口述試験	○	◎	◎	◎	○

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎，○は、当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要点項目，○は必要・重点項目）なお，◎、○は配点の内訳とは直接関係はありません。